

391その他の装置、設備を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	10~11	本社ビル2階経理部の部屋内を大掃除中、書棚上部を清掃するため椅子の上で作業中に、バランスを崩して足を滑らせ、左側面から床に落ちて強打し、左手首を粉碎骨折した。	57	1	140309	100 ~ 299
2	2017	12	17~18	倉庫内にて片付け作業中、屈まなければならない場所にオーブンレンジを置いたあと、頭を上げた際に、設置されていたクランプで頭を強打し負傷した。	47	3	170101	30~ 49
3	2017	12	7~8	冷蔵庫を運んでいるとき、躓き転倒した際に冷蔵庫が足の甲に倒れた。	69	4	40301	50~ 99
4	2017	12	21~22	厨房内のキッチンコンロの前で、手を伸ばしたはずみで金属製の仕切り板に右手をぶつけ、右手の薬指と小指の間の付け根を裂傷した。	30	8	140201	30~ 49
5	2017	12	19~20	調理場内にて、朝食の仕込みを冷蔵庫へ運んでいる際、トレイが右側の棚にぶつかり、持っていた仕込みを落とさないようにしようと、バランスを崩してデシャップ台の前で左足が滑り、右足首をかばうため（1年前に右足首を粉碎骨折）、右手で体を支えるようにして後方へ転倒した。当初は打撲程度と思っていたが、段々と腕が上がらなくなり、高い所にある物を取ろうとすると痛みが出るようになり、重たい物も持てなくなってきたため受診したところ、右肩外傷性腱板断裂と診断された。	56	2	140101	100 ~ 299
				事業場内の施設利用者の居室にて利用者が失禁したベットの				

6	2017	12	14~15	マットカバーを洗濯し、乾いたのでマットカバーを付ける作業をしていた。マットが硬くてカバーがなかなか入らず、やっと入れることができたが、その後、背中痛みが続いていた。当初は大した事はないと思っていたが、あまりに痛みが続くので受診したところ、背骨の圧迫骨折と診断された。	72	19	130201	30~ 49
7	2017	12	14~15	店の厨房内にて、茹で上がった卵の入った片手鍋をシンクに移動させようとした際、両手で持ったが重過ぎたため鍋が傾き、熱湯が左足の甲にかかり熱傷した。	27	11	140101	10~ 29
8	2017	12	14~15	スポーツジムのシャワー室でボディソープの補給の際、ボディソープの容器に付着しているソープ液を洗い落とす為に、シャワーを使用した。その際、重いシャワーヘッドがとれて落下し、右足小指にぶつかり、大きく赤く腫れた。	47	4	150101	100 ~ 299
9	2017	12	17~18	夕方、デイサービスの送迎でご利用者を自宅に送り届けたのち、施設に戻る経路上のコンビニでトイレを借りようと立ち寄った際、車から降りて店内に向かって歩いている途中で車止めの縁石に躓き、前のめりに転倒した。	42	2	130201	100 ~ 299
10	2017	12	15~16	工場内前室にて、台車に載せた半製品を包装室内に運び込もうとした。その際、入口のブラインドシャッター前に台車を置き、ブラインドシャッターを上昇させた時に台車がブラインドシャッターに触れ、台車がブラインドシャッターに押される格好となり、その流れで体を押され、尻餅をつき負傷した。	60	6	10109	30~ 49
11	2017	11	1~2	農場で5tタンクへ上がる時、地上より2m位の所でカズラが足に掛かり階段より足を踏み外し落下、手と顔を強打し負傷した。（手首骨折、顔負傷）	66	1	40301	50~ 99
12	2017	11	19~ 20	メカニズムASSY組み立て作業完了後、作業台クランプを解除した際に手が滑りクランプバーに右手首が挟まり、そのまま体勢を崩し、右手を捻った。	27	7	170101	100 ~ 299

13	2017	11	9～ 10	配送先にて、トラックから荷卸し中、A支柱を2本持った時に コマとコマの間に右手薬指が挟まり負傷したものである。	20	7	80409	10～ 29
14	2017	11	18～ 19	閉店作業で玄関戸の施錠確認中、ロールカーテン下の重り用 の棒に足を引っ掛けて転倒し、右膝と左肩を負傷した。	66	2	80109	50～ 99
15	2017	11	16～ 17	店内で、前陳作業をしている時、お客様の対応をしようとレ ジへ向かう途中、玉子什器に足を引っ掛け、手をつかずに転 倒し受傷した。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、 自分で手当てをしていたが、良くならなかった為、後日病院 へ行った。	38	2	80209	10～ 29
16	2017	11	11～ 12	校舎3階の算数少人数の教室で、教室後方の掲示板に反比例の グラフ（約縦80cm、横60cm）を、児童用ロッカーに乗って 張ったが、降りる際に、踏み台にしていた児童用机から足を 踏み外し、ロッカーから約1m下に転落した。床に右手をつ いて落下した際に右手首を骨折した。	60	1	120109	10～ 29
17	2017	11	13～ 14	工場内ラミネート機において製品のシート替作業中、古い シートと新しいシートを1m位重ねてラミネート機のローラー に挿入して行うところ、重なり幅が10～20cm位になってしま い重なり幅が少ないのでラミネート機の熱ローラー（約 175℃）に上手くシートが入らないと思いシートに手を添えて 熱ローラーに入れようとしたところ左手をローラーに挟まれ 左手母指、示指、環指を裂傷と火傷をした。	24	11	10109	50～ 99
18	2017	11	9～ 10	居室にて椅子に上がって天井の電気カバーを清掃中、バラン スを崩し転倒した際に左手を強打した。	58	1	130101	1～9
19	2017	10	14～ 15	工場内で脱パン（ステンレス製の皿）作業をしていたとき、 頭上に設置してある集魚用シューター（重さ17.5kg）の上に 載っている魚を下からホウキの柄で突いて落とそうとした 際、集魚用シューターがはずれて落下し右手甲に当たり受傷 した。冷蔵庫内での作業。	23	4	10102	100 ～ 299

20	2017	10	10～ 11	病棟空調機械室内に設置してある空調機上（床より約2.4mの高さ）にて降雨による雨降水の処理作業をしている時に足場が悪く体勢を崩し転落した。	62	1	130101	500 ～ 999
21	2017	10	18～ 19	軟式野球ボールルの球拾をしていた。 ネットを留めている金具に足をとられて転倒した時、左手を地面に着き単純骨折した。	21	2	140309	1～9
22	2017	10	1～2	冷凍自動倉庫内でラック上の商品の位置を手直しし、足場を移動しようとした際、足を滑らせ約50cmの高さから落下し、左下腿前面を架台にぶつけ挫創した。	25	1	80401	50～ 99
23	2017	10	12～ 13	UFOキャッチャーの機内フィールド上に入り景品補充の作業をしていた。 作業が終わり、フィールドから降りる時に、足を滑らせアクリル板のガード部分に会陰部を強打し、打撲する。	19	3	140309	10～ 29
24	2017	10	18～ 19	3課4係の前工程にて加熱ゼネレータ付近で作業していた時、加熱終了のブザーが鳴った為、右回転で振り向き、操作盤に向かおうとした。 その際、滑って転倒し開いていたゼネレータの扉に右肋骨付近を強打した。	48	2	170101	10～ 29
25	2017	10	8～9	エスカレータ内側デッキカバーを清掃中、雑巾が手すりに引っ掛かりバランスを崩して、背中から一回転し転倒。 その際頸、肩、腰、頭を強打し後頭部より出血した。	65	1	140302	50～ 99
26	2017	10	9～ 10	車両積載車のドライバーとして就労している被災労働者が、事業場敷地内にある積載車駐車スペースにて、当該車両の上段に積載した車両に書類を置き忘れたことに気づき、当該箇所へ登ろうとしたところバランスを崩し、足から路上へ落下。 左足首上部を骨折した。 本来駐車スペースは作業をする場所ではないが作業効率アップのためにと当該者の判断により、当場所にて作業を行うことが日常的となっていて車両積	61	1	80202	30～ 49

				載の当作業は当社は1人で行うものとしている。当時の天候は小雨であった。落下した、車両上段部は地面から1.7m程の高さである。				
27	2017	10	20～ 21	調理場から6m程はなれた、パントリーホール用の水道にて、両手鍋（直径40cmほど）に水を9割入れ、調理場へ戻る際に首と腰を痛めてしまった。	49	19	170101	50～ 99
28	2017	10	11～ 12	ガバナ実習室にて分解訓練を行っていた際ガバナ内の残圧によりスリーブが飛び出したことにより、右手をガバナの蓋に挟み負傷した。	49	7	11602	500 ～ 999
29	2017	10	13～ 14	会社野菜加工場において、ケースを洗い終わった後の水槽（70cm×50cm×41cm）の水を斜めにして排水溝に向けて捨てる作業中、手が滑って水槽を左足に落として負傷した。早退し、怪我の状態をみていたところ、足が腫れて痛みがあった。	51	4	10103	30～ 49
30	2017	10	11～ 12	惣菜調理作業中、オーブンより焼きあがった魚を取り出しオーブンの上にあげた際、トレイが手前側に斜めになり、お湯と油の混ざったものが、右腕にかかり火傷した。尚、手には火傷防止用ミトンを履いていたが、手首から肘にかけて服の上から火傷を負った。	72	11	80209	30～ 49
31	2017	9	7～8	施設の3階310号室にて、朝、洗顔用のタオルを居室のベッド上におられた利用者に手渡したが、利用者が床に投げつけたので、そのタオルを拾い、再度利用者に近づき手渡そうとした際に、ベッドそばに敷いているマット（転落した時のケガ防止のためのもの）がすべり、後ろ側に転倒し、左手をついて、尻もちをついた。	68	2	130201	10～ 29
32	2017	9	17～ 18	厨房内の電子レンジにて、温めたご飯を電子レンジから取り出そうとした時、ターンテーブルが割れており落下してきた為、受け止めようとした際、左手中指と薬指の間を割れた	17	8	140201	30～ 49

				ターンテーブルで切傷した。				
33	2017	9	9～ 10	会社詰所の風呂場で清掃している時に浴槽を清掃するため に、洗剤を吹きかけた。その後、浴槽内を歩行しようとした ところ足を滑らせて転倒した。その際に右膝を床面に強打し て負傷した。	59	2	50202	50～ 99
34	2017	9	14～ 15	建物内において、自社が提供した高圧機の修理作業中、圧力 ゲージが0になっている事を確認した上で、高圧機の配管を取 り外す作業を行っていた。しかし、配管内にゴミが詰まって いたため、実際には配管内には圧力が残っており、配管を外 した際、残圧によって激しく噴出した水を浴び、負傷した。	38	4	11702	10～ 29
35	2017	9	22～ 23	トラックの荷台の中で、つっぱり棒を掛け忘れて、掛けに 戻ったとき、ダクトに左足の親指を引っ掛けてしまい、全治 一週間のケガを負い、7針縫う結果となった。	52	8	40301	50～ 99
36	2017	9	12～ 13	店のカウンターにて、業務用コーヒーマーカーでブレンド コーヒーを抽出中であつた事に気付かず、ブレンド粉を入れ る器具を外した際右手甲～手首にかけて熱湯がかかり、熱傷 を負う。後日、抽出中はパウチをコーヒーマーカーに貼り、 抽出中と分かるよう対策した。	21	11	140201	10～ 29
37	2017	9	15～ 16	材料となるセメントの給材ホッパー（2号ライン）周りで、成 形機トラブルによるホッパー内に残った平モルタル廃棄準備 中に、ホッパー開口部の板を外して、その上を歩いていると きに体勢を崩して右足首を捻って骨折した。	32	19	10901	10～ 29
38	2017	9	18～ 19	デリの洗い場で、使用済みの串をソリューションタンク内に 入れ、右手で串を持ち左手で蓋を下げているときに、蓋が自 動の所手動で作業していた為とても重く、1人では作業しては いけない所、1人で下げてしまった為左手に負担がかかり、左 肩を脱臼してしまい、自分ではめたが、痛みが出てしまっ た。	33	19	80201	100 ～ 299

39	2017	8	16～ 17	トイレの縁に立ち、トイレの上にある棚に置いてあるトイレレットペーパーを整理・補充していたときに、左足を滑らせ、左側に転倒し、左足首を負傷した。	44	1	140201	10～ 29
40	2017	8	11～ 12	倉庫よりトラックタイヤの搬入作業中、タイヤのバランスを崩したため、自身の足にタイヤが当たり、足を折った。	49	5	11701	10～ 29
41	2017	8	11～ 12	入院患者に対して昼食の準備をするため、3階配膳室にて薬缶で湯を沸かし、ポットに湯を注ぎ入れようとして薬缶を持ち上げたところ、把手が外れ、中の熱湯が両足にかかった。	43	11	130101	30～ 49
42	2017	8	15～ 16	ケアハウス廊下の掲示板の飾りつけをしている際、椅子に乗って取付けていたとき、椅子から転落し、手から落ちて手首を骨折した。	24	1	130201	100 ～ 299
43	2017	8	10～ 11	ストール舎のオス豚房を掃除中、餌を食べていたオス豚が人の気配に気づき近寄ってきたため、逃げようとした時に右手が扇風機に当たり、怪我をした。当日はそのまま作業をしたが、翌日より痛みと腫れがひどくなってきたので病院へ行った。	20	3	70101	10～ 29
44	2017	8	14～ 15	原料プラントの空ラック置き場へ空のラックを置きに行ったときに、元々並んでいた空ラックのうち1台が列からはみ出して並んでいた。このため、自分が持って来たラックを排水溝に向かって、傾斜があり床が不安定な場所に置いて、はみ出したラックを直そうとしたところ、自分が持って来たラックが倒れ、左足首に当たり負傷した。	40	5	10109	100 ～ 299
45	2017	8	11～ 12	事業所の厨房内にて、回転釜でお湯を沸かして野菜を茹でていた。次に野菜を追加で茹でようと、回転釜を傾けて後方の野菜を取ろうとしたとき、回転釜の中のお湯の重みで予想以上に傾き、中のお湯が両足の足首から下にかかり火傷した。	33	11	80209	30～ 49
				1階温総菜作業場で、天ぷらを揚げる作業中、揚げカスが溜				

46	2017	8	13~ 14	まってきたのでカスを取るため、油の中に沈んでいるヒーター管を上げた。揚げカスをすくっている最中に、固定しているストッパーからヒーター管が外れて倒れ、そのまま油の中に落下した。落下した反動で油がはねて、全身に油をかぶった。	32	11	80201	300 ~ 499
47	2017	8	17~ 18	0歳児の保育室で、子どもを抱いたまま55cm位の高さの仕切の柵をまたごうとしたところ、またぐ際に足が柵に引っ掛かり転倒した。その際に柵に胸をぶつけてしまい、右側肋骨にひびが入ってしまった。	42	2	130201	30~ 49
48	2017	8	23~ 24	店舗事務所内において、流し台の横下を清掃しているとき、金属フィルター蓋設置の際に、右手小指及び薬指を金属蓋に挟んで切った。	33	7	80201	1~9
49	2017	8	13~ 14	電解研磨工程でカゴに製品を入れ、酸洗った後に洗い場にクレーンで移動し乾燥作業をするために製品が入ったカゴにお湯をかけてから洗い場から移動させるが、移動する際にアングルにクレーンで吊るためのバーをセットしなければならない。カゴに上ってセット中にバーの位置確認をしにカゴから降りる時にアングルに添えていた手がズレて裂傷した。	55	8	11204	50~ 99
50	2017	8	10~ 11	事務所内にて、本人使用の事務機の引き出しから2段目を引いて、開けた後閉めてからその前を横切ったが、その際最下段の引き出しにつまずき転倒した。その際、右手の甲側から床に着いたため右手首を負傷した。	64	2	10109	300 ~ 499
51	2017	7	18~19	鑄造用砂除去設備の点検デッキ上で、設備移設工事後の試運転で、Bダクトの開閉切替動作の確認をしているとき、自動運転中に安全カバーを外し、設備内に腕が入る状態にしてしまい、設備内に左腕を入れ、吸入口に手をかざし、風の流れを確認中、上昇してきた扉とフードのフレーム間で左腕を挟まれた。	61	7	170101	100 ~ 299





58	2017	7	10~11	業務中、店頭で開店準備をしている際、移動していた什器の不具合で引き出し部分が右足親指に落下し、負傷した。	28	4	80209	~ 299
59	2017	7	15~16	ダンプのバンパーに両足を乗せて荷台のセメントを引っ張り下ろそうとしたときに、左足から地面に降りたが、地面のアスファルトまでの距離が思ったよりもあり、つま先立ちになってしまい、左足に体重がかかり、足を痛めてしまった。	43	11	130201	50~ 99
60	2017	7	21~22	工場カートンラインで計量機の洗浄中に計量機部品の入ったラックを流し台まで引っぱろうとした時に、腰のあたりに痛みを感じ歩行するのがつらい状態になった。	59	19	10104	300 ~ 499
61	2017	7	21~22	店舗内客席テーブルにおいてお好み焼きを焼いている際に、テーブルが動いた拍子に体勢を崩し、とっさに右手を鉄板の上についてしまい受傷したものである。	20	11	140201	30~ 49
62	2017	7	10~11	牛乳冷蔵庫内の牛乳大型ラインで製品積み付け作業をしているとき、上部の冷凍機から氷の塊が落下し、従業員の頭部に当たる。製品にも落下し破損した。前日の前室オーバースライダー交換修理時、外気が入り温度上昇が原因と見解。MRIとレントゲンを受診、頭部打撲と頸椎捻挫の診断結果。	55	4	40301	100 ~ 299
63	2017	6	10~11	事業所5Fホールにて、利用者様用の白湯を作っている時、お湯の入っている透明の容器が倒れて両下腿にかかった。	34	11	130201	100 ~ 299
64	2017	6	22~23	業務員（大型配車担当）のセンターホーム場において、運行出発間際の車両へ雑貨の載った台車を駆け足で牽引していた際、左足を台車に巻き込まれ転倒した。転倒の際に上手く受け身が取れず、右脇腹を強打したものである。	60	2	40301	50~ 99
65	2017	6	9~10	清掃員が病院東病棟の床をモップで清掃中、汚れが落ちないため力を入れて床を拭いていたところ、背中にズキッとした痛みが出た。痛みが引かず、MRI検査を受けた結果、腰椎圧	72	19	150101	100 ~ 299

				迫骨折と診断された。				
66	2017	6	6～7	業務中、テーブルを移動させた時にテーブルの脚に足が掛かり、転倒して大腿骨を強打してしまった。	67	2	10109	30～ 49
67	2017	6	19～ 20	当社派遣先である本社工場内、組立部第1組立課シートカバー製造の現場で、部品を載せて運ぶ台車の取っ手（脱着式ハンドル）を台車の下方から取って上方に取り付けようとした際に、左側は差し込んだが右側もきちんとはまったかを確認せず手を離れたところ、右側ははまっておらず、ハンドルが落下して右足に直撃し打撲した。	23	4	170101	100 ～ 299
68	2017	6	9～ 10	工場3階、粳生地乾燥機の生地出口付近にて、乾燥機脇の通路を通行中、足元をよく確認しておらず、天井からの結露水落下対策用のビニールシートの上に乗ってしまい、落下した。落下した際に、左腕を負傷した。	39	1	10104	300 ～ 499
69	2017	6	17～ 18	一般浴室にて、入浴介助後の片付け中、入浴物品の置いてある折り畳み式のテーブルを片付けるため持ち上げた際、誤って自分の足元に落としてしまった。	59	4	130201	30～ 49
70	2017	6	16～ 17	当社施設内で入浴介助中、タオルを保管している棚から滑り止めマットを取ろうとしたところ、マットに引きずられ、棚板（木製：42cm×115cm×2cm、2.5kg）と一緒に左足先に落下して負傷したものである。	32	4	130201	100 ～ 299
71	2017	6	11～ 12	休転作業で使用のリース品返却及び工場内片付け作業中に、工事で発生した古ベルトが工場内に放置されているため、2名にて古ベルトをシャーリングで切断しようとしていた。シャーリングに古ベルトを押し込んでいる際、鉄板送り用のローラー付テーブル（幅1150×奥行き200×高さ850、重量約70kg）が、ベルトと接触し倒れ、作業員2名の右足甲が挟まれた。	22	5	30309	50～ 99
				投炭No.1BCヘッド安全柵取付けのためCCR詰所を出て、投炭				

72	2017	5	9~ 10	磁選機の故障が出たため、DCSオペレーター作業員Aは当日該当設備の担当である罹災者に無線で連絡をした。しかし応答が無いので作業員Bを投炭磁選機に向かわせたところ、作業員Bは罹災者が投炭磁選機とベルト駆動チェーンカバーの間に挟まれているのを発見した。罹災者は、安全柵を取付け中に投炭磁選機移動前の警報ブザーに気付かなかったか、まだ磁選機との距離に余裕があると思い込んで罹災したと推測される。	42	7	11001	100 ~ 299
73	2017	5	11~ 12	個人宅で汲取り作業中に、バキュームのホースが詰まってしまい、詰まりを解除するための作業を行っていたところ、回転板の隙間に足を巻き込んでしまった。	70	7	150109	1~9
74	2017	5	14~ 15	レジの作業中、お客様の清算済カゴをサッカー台に運ぶ途中、予備のカゴ台（縦32cm×横50cm×奥行34cm）に躓き右膝を強打した。	25	3	80209	50~ 99
75	2017	5	10~ 11	当社デイホール内窓辺前の長机の上に乗る、紙でできた大きな看板のようなものを壁に貼ろうと、長机の上に立ち、手をいっぱい伸ばしながら作業していた際、折りたたみ式の長机の脚が折れてしまい、背面から床に転落してしまった。	34	1	130201	30~ 49
76	2017	5	14~ 15	そばを作っている時向かい側のつゆが少なくなり、つゆの寸胴がゆで釜に浮いていて、そこにつゆを足した時に寸胴が沈み、その反動でゆで釜の熱湯が溢れ、左足のふくらはぎに熱湯がかかり火傷をした。	50	11	140201	10~ 29
77	2017	5	10~ 11	ベーコン製造ラインで使用している高速スライサーにおいてベーコンの原木をグリッパーにセットする際に、誤ってグリッパーの爪付近で原木を持ってセット作業を行ってしまい、原木と指を一緒に爪の部分で挟んだ。	23	7	10109	100 ~ 299
			13~	加工機の改善を行うために修理予定の遊休加工機の上に乗った。加工機周りの足場設置をせずに機械上部に乗ったとこ				50~

78	2017	5	14	ろ、上部が油分で滑り易かった為に足を滑らせて落下 (1.8m) してしまった。	52	1	11502	99
79	2017	5	9~ 10	清掃中に清掃用具保管庫のシンクへ汚水を捨てようとバケツ を持ち上げた際、腰椎を捻挫した。	45	19	150101	300 ~ 499
80	2017	4	16~ 17	メダルを回収している際に、サービス扉を外して立てかけて いたところ、通りすがりのお客様の足が扉に当たり、扉が倒 れて左膝に当たった。(お客様は当たったことにも気付か ず、ケガもない。) 外傷はなかったが痛みがあり、立つのも 困難となり、後日に半月板断裂と診断された。	43	5	140309	10~ 29
81	2017	4	13~ 14	1階店舗においてバックヤードから店内に入ろうとしスイング ドアに手をかけた際、観音開きのドアの隙間に指が挟まった ため右手中指を挟んだ。	61	7	80209	100 ~ 299
82	2017	4	4~5	ビジネスホテルの客室で、エアコンのフィルター掃除をして いた。フィルターを戻した後に、スチール製のふたを閉じた が、しっかりと固定されておらず椅子から降りようとした時 に、ふたが外れて頭部に落下し、首を痛めた。その後、手が しびれて動かせなくなった。	27	4	140101	1~9
83	2017	4	11~ 12	店内でスロット用メダル搬送用ベルトの異物除去作業後、再 始動時に右手人差し指をベルトに巻き込まれ骨折等の怪我を した。	29	7	140309	30~ 49
84	2017	4	4~5	南口のタクシー待機場所内で車両を停車させ待機する。その 後、軽い運動をしようと車両から降り、車道との境目に設置 されている、等間隔高さ50cmで間にチェーン・ロープ(金属 製)が張られている物を跨ごうとした際、左足付け根が チェーン・ロープに引っ掛かり、左肘から地面に倒れた。	63	2	40201	300 ~ 499
			9~	入社時、社員通用口手前にある防塵マット上で足をひねり転				100

85	2017	4	10	倒し、更に通用口から社屋内に入り、フロアーマットに足を引っかけ転倒しそうになった際に右足甲を骨折した。	53	2	10709	～ 299
86	2017	4	10～ 11	店のバックヤードで、清掃で使用して汚れたダスターに掃除機を掛けようとコードをコンセントに差し込む際、ジャバラホースに足がからまり、両足が開脚してしまった。その時に左手で体を支えようとして、掃除機に肘をついたところ痛みが発生した。	64	19	150101	～ 299
87	2017	3	12～13	客室にて清掃作業中、天井の非常灯の電球を交換しようとして4脚のテーブルの上に乗って作業をしていたところ、4脚の脚が1本折れて、バランスを崩して後方へ転倒し、背中・腰・首を床に打ちつけた。	46	5	140101	500 ～ 999
88	2017	3	12～13	惣菜作業場で作業をしている時、作業台の下の冷蔵室の扉が開いたままになっているのに気が付かず、右膝を強打した。	48	3	80209	100 ～ 299
89	2017	3	16～17	店内のカウンターにてソフト加工業務中、棚に置いていたゲーム機本体が足の上に落下し負傷した。	18	4	80209	30～ 49
90	2017	3	13～14	入浴介助のため、特浴室にて2名で利用者をチェアー浴の台車に乗せ、レッグレストを2人で上を持ち上げた際、左手第4指がレッグレストのロック解除レバーに挟まり負傷した。	51	7	130201	50～ 99
91	2017	3	9～10	電気ポットの前日の残り湯を捨てる際に、流しの脇にポット置いてフタをはずしたところ、ポットが倒れ足を火傷した。	52	11	130201	30～ 49
92	2017	3	11～12	金属製のベンチの上でポスター貼りの作業中、ベンチから降りる際に足を滑らせて転倒し、右手をつき、右手親指を負傷した（骨に異常なし）。	65	2	170209	300 ～ 499
93	2017	3	7～8	店舗レジにて、お客様からコーヒーの注文を頂きコーヒーをセットしレジに戻ったときに、予備釣りBOXが開いていることに気づかずに転んでしまい、BOXに左腕の肘の周辺をぶつ	49	2	80209	10～ 29

				け受傷した。				
94	2017	3	16~17	台車の上に載せられた断熱材が送られてきて、次の工程に移る際、エアコンの吹き出し口に頭部が当たり、首を捻り負傷した。	29	3	10901	10~ 29
95	2017	3	17~18	敷地内工場壁面を工業用高圧洗浄機を使用し清掃していた際、工業用高圧洗浄機のスイッチを不意に切られたため、水圧が掛からなくなり、体勢を崩し股関節を負傷した。	57	19	10102	10~ 29
96	2017	3	13~14	店内のキッチンにて食器の仕分け作業をしていた際にガラスが割れてしまい、破片で左前腕を切傷した。	17	8	140201	30~ 49
97	2017	2	15~16	店内厨房にあるグリル（肉焼成専用機器）前にて、ハンバーガー用牛肉をグリルから保管用トレイへ移す際、グリル上部の鉄板（218℃）に左手甲部分が触れ、1度の火傷をした。翌月職場復帰の見込みである。	20	11	140201	30~ 49
98	2017	2	9~10	容器にお湯を入れようとホースを引っ張った際、ホースが足に絡まり転倒しそうになったため踏ん張って右足を床に着いたところ、足指を受傷した。	48	19	170101	10~ 29
99	2017	2	15~16	床から50cm位の高さの作業台の上に立ってプラスチック容器の選別作業をしていた時、台の上に散らばった物を拾う為に屈んだ際、バランスをくずし台から落下した。その際、顔面と右腕を強打し、顔面裂傷と右腕骨折となった。	73	1	150103	10~ 29
100	2017	2	10~11	製鋼工場にて鑄込みケース段取り中に、天井クレーンで押油耐火物用のウエイトをセットしようとしていた。ウエイトを回転させ吊り手位置を調整するために通常では手を添えない位置に手を添えたまま当人がクレーンに下げの合図をした為、押油耐火物とウエイトの間に右手指先が挟まれ受傷した。	53	7	11001	100 ~ 299

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。